

第78号

酪農とちぎ



6月24日開催通常総会より

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 通常総会
- 3 ページ 乳質共励会、環境整備・美化コンクール表彰
- 4 ページ 東西南北（各支所）
- 5 ページ 米国ルーサン検品報告
- 6 ページ 部課だより（生乳販売課）
- 7 ページ 部課だより（業務部）
- 8 ページ 理事会だより、支所事業計画、市場成績



第13回 通常総会、 臨時理事会、開催

（常勤3役再任のもと新執行体制始動！）



6月24日、高根沢町民ホールにおいて栃木県農政畜産振興課杉本課長を来賓に迎え第13回通常総会が開催されました。

冒頭の組合長挨拶では、昨年10月より飲用乳価改定に至ったが、依然として飼料価格の高騰等生産コストの増高を補うまでに至らず、極めて厳しい経営環境の中、安全・

安心な良質乳生産に尽力頂いたことに対して敬意と感謝を述べました。

また、生乳の需給動向や粗飼料情勢、TPP交渉状況、農協改革に触れ、本組合としても26年度は第3期中期構想の最終年度にあたり、酪農生産基盤の確立、安定した生乳生産に向け組合一丸となつて組合運営に取り組む所存であると挨拶しました。

議長団には越井昭一氏（大田原市）廣田治則氏（日光市）の両名が選任され、円滑に議事を進行し



議長 (左) 越井 昭一 氏
(右) 廣田 治則 氏

て頂きTPPに関する特別決議を含め全議案とも可決承認されました。

議事終了後、新たに選任された役員並びに退任役員が挨拶を述べ、坂主副組合長の閉会宣言により通常総会を終了しました。

当日の出席状況

組合員数 605名
本人出席数 158名
書面議決 421名

主な質疑・意見要望事項

- ① 支所等の住居表示について
- ② 監事定数について
- ③ 屠場存続問題について
- ④ 酪農まつりについて
- ⑤ 飲用乳価について

総会終了後、高根沢農村改善センターにて臨時理事会、監事会が開催されました。

臨時理事会において菊池一郎代表理事組合長、坂主正代表理事副組合長、赤堀誠専務理事が再任されました。また、専門委員会規程の一部変更を経て2委員会会制とし、総務販売委員長に菊地右氏副委員長に岡田建史氏、業務委員長に松

山秀夫氏、副委員長に白井勉氏が選任されました。

監事会においては、代表監事に熊谷貞二氏、第一監事に長浜金一郎氏が選任されました。

各役員の専門委員会分担については左表を参照願います。

専門委員会名簿

委員会名	総務販売委員会	業務委員会
委員長名	菊地 右	松山 秀夫
副委員長名	岡田 建史	白井 勉
委員名	大瀧 信夫	金田 修一
	仙波 吉雄	田代 和一
	滝沢 悦郎	南條 弘充
	根本 壽一	蓮見 晴明
陪席監事	熊谷 貞二	高瀬 賢治
	長浜金一郎	山口 文男



新役員挨拶風景



第12回乳質共励会表彰者名簿 平成26年 6月24日

表彰区分	支所名	組 合 員 名	連続賞	組合外表彰
優 秀 賞	那 須 高 原	田 代 和 一	6年連続	農政部長賞
	〃	森 順 一		農政部長賞
	〃	奥 田 一 男		農政部長賞
	〃	仲 間 健 栄	2年連続	農政部長賞
	宇 都 宮	小 口 誠 一	7年連続	農政部長賞
	〃	植 木 靖		農政部長賞
	那 須 高 原	井 上 徹 男	3年連続	
	〃	前 田 宏 幸	2年連続	
	宇 都 宮	駒 場 久 幸	3年連続	
	県 南	伊 沢 琢 磨	3年連続	
優 良 賞	那 須 高 原	要 田 康 久		
	宇 都 宮	山 本 修 治		
	那 須 高 原	太 田 賢 治		
	〃	人 見 修 由		
	〃	田 野 光 司		
	宇 都 宮	羽 田 栄 雄		
	〃	小 林 幸 雄		
	那 須 高 原	室 井 元 浩		
	〃	後 藤 建 次		
	宇 都 宮	須 藤 俊 雄		
	県 南	加 藤 晟 晨		
	那 須 高 原	利 根 川 好 美		
	〃	高 柳 好 美		
	宇 都 宮	松 井 実 薫		
	〃	手 塚 三 千 子		
	県 南	菱 沼 三 千 子		
	那 須 高 原	大 泉 晴 雄		
	〃	高 井 信 二		
	〃	猪 瀬 良 一		
	〃	人 見 浩 美		
〃	人 見 正 光			
宇 都 宮	箕 輪 長 二			
〃	鷹 箸 稔			
県 南	館 野 透			

通常総会に先立ち、乳質共励会並びに環境整備・美化コンクール
の表彰が行われました。
受賞された方々には、敬意を表しお祝い申し上げます。



第12回乳質共励会表彰 第3回環境整備・美化コンクール表彰

以上、34名の方々が第12回乳質共励会において特に優秀な成績を収められました。

第3回環境整備・美化コンクール表彰者名簿

平成26年 6月24日

表彰区分	支所名	組 合 員 名	備 考
優 秀 賞	那 須 高 原	小 松 良 吉	
	〃	間 宮 祐 一	3年連続
	〃	関 正 夫	3年連続
	〃	(有)ウェルシーファーム	3年連続
	〃	石 川 正 嗣	
	〃	大 内 淑 公	
	〃	(株)桃井牧場	3年連続
	〃	伊 藤 高 行	3年連続
	〃	(有)那須高原今牧場	3年連続
	〃	菊 地 勇	3年連続
	〃	星 民 也	3年連続
	〃	人 見 寛 昭	
	〃	人 見 浩 美	
	〃	皆 川 悦 郎	3年連続
	〃	室 井 忠 次	
	〃	中 村 一 郎	
	〃	小 針 結 城	
	〃	熊 谷 貞 二	3年連続
	〃	加 藤 拓 央	
	〃	中 島 隆	
〃	斎 藤 章		
〃	菊 地 瞳		

表彰区分	支所名	組 合 員 名	備 考
優 秀 賞	那 須 高 原	石 島 栄	
	〃	杉 本 茂 雄	3年連続
	〃	小 針 勤	
	〃	高 柳 好 美	
	〃	和 田 泰	
	宇 都 宮	植 木 靖	
	〃	駒 場 久 幸	3年連続
	〃	鷹 箸 稔	
	〃	小 口 誠 一	
	〃	中 山 光 雄	
	〃	加 藤 操	
	〃	仲 山 日出男	3年連続
	〃	小 林 幸 雄	
	〃	金 田 修 一	
	県 南	國 母 孝 至	3年連続
	〃	羽 石 智 昭	3年連続
	〃	コージーファーム(株)	3年連続
〃	柳 吉 成	3年連続	
〃	石 崎 忠 良		
〃	海老原 哲 夫		
〃	裕 本 利 雄		

以上、43名の方々が環境整備・美化コンクールにおいて特に優秀な成績を収められました。



那須高原支所

女性会那須支部研修会

女性会那須支部（清水恵美子支部長）では、6月26日東京方面への研修会を行いました。

梅雨真っ只中にもかかわらず、天気にも恵まれ暑い一日でした。

昼近くに日の出桟橋に到着、早速シンフォニーに乗船し、東京湾を周遊しながらのランチクルーズです。窓からの景色を眺めながら、船上でいただくランチは格別。2時間のバイキングでしたが、さすがに皆さんお腹一杯になり、その後は別腹のスイーツを頂きながら語らう人や、デッキに出て風を愉しむ人などそれぞれの時を過ごし、束の間の「セレブ」なひとときでした。

その後東京国立博物館で、台北故宮博物院の特別展を見学。中国皇帝の至宝186点を、ゆっくりと見て回り異国の文化を学びました。（有名な「白菜」という作品は120分待ちの為見ることを諦め、順番待ちの長蛇の列を見てきました。人気の凄さにびっくり！）



その後ソラマチタウンでの自由行動。スカイツリーを楽しみにしていた人も、予約なしにも関わらず展望デッキに中ではDVDによる研修も行い、盛りだくさんの一日が終了しました。

楽しく見聞きした事や体験した事が、明日からの生活のヒントやパワーになると思います。支部では、今後も視野を広め、沢山の事を学べるような活動をしてゆきたいと思えます。

宇都宮支所

女性会那須南支部

『一般参加者を交えての料理教室開催』

6月17日、女性会那須南支部（高瀬智子支部長）において乳製品を使った料理教室『M,Sキッチン』を開催しました。

那須南支部は毎年、一般参加者を交えて料理作りを通じ交流を図っており「今年も実施するのかわ？」



との問い合わせがくるほど盛況で、今回も、那須烏山市の広報誌に掲載し、募集をかけたところ一般参加者20名の申込みがあり、女性会員と合わせて33名が出席し、森永乳業の栄養士福田敏子先生を講師にお迎えし今回3品の料理に挑戦しました。

まず初めに先生のお手本を見学、レシピを参考に参加された皆さんで和気あいあいと和やかに調理を始め、パスタ・ビーンズのヨーグルトジュレ・リングゴのソーショコラ練乳ソースの西洋料理コースを作りました。

乳製品を使った料理が出来上がり、試食タイム！美味しくて参加者全員完食でした。「主役にならない、出しゃばりすぎない乳製品ばかりの使用で、うんと味が違ってくる」と先生が言っておられました。改めて実感しました。

また今後も地域の方々に牛乳・乳製品を知っていただけるよう継続して活動して参ります。

県南支所

女性会芳賀支部研修会開催

7月15日、県南支所会議室において女性会芳賀支部（支部長岩渕英子）主催による研修会

が支部員33名の参加により開催されました。女性が哺育育成を担当している農場も多いため、今年度の



研修会は講師に㈱COWOXの川上太朗獣医師と高井健獣医師をお招きして「子牛管理の基本〜強い牛を作り、牛に栄養を与える〜」と題し、研修が行われました。

今回は哺育育成の基本を勉強するため、「牛を強くする管理」と「牛に栄養を与える」の2点をメインに講演していただきました。

牛を強くする管理では、初乳を適切に給与することが重要であり、そのためにも初乳給与前の準備として、牛の状態を良くすることが大切であるとの説明がありました。

また、「牛に栄養を与える」では、強化哺育のポイントと水給与の重要性について説明がありました。

その後の質疑応答では、先生の講演の中での話に対する疑問や、自分の農場での作業についての疑問等活発な質疑となり、有意義な研修会になりました。

米国ワシントン州産 ルーサン現地検品報告

那須高原支所 渡辺 祐一

7月1日に成田を出発して、およそ9時間の後、アメリカはワシントン州のシアトルに到着いたしました。目的は、今年産の一番刈りルーサンの検品です。シアトルから南東に150 kmほど行ったエレンズバーグと、その周辺のコロンビアベースンという地域で、ルーサンを検品して参りました。

今年の1番刈りルーサンは、天候に恵まれ、生育も刈取状況も良



検品風景



工場の風景

好で、品質の良いものがほとんどでした。しかし、アメリカ国内の乳価が高値である為に、アメリカ国内での需要が強いことや、酪農地帯であるカリフォルニア州で、水不足等の理由から、ルーサンの収穫量が減っていることなどから、ワシントン州などでの価格が高値となっております。「物も良いが値段もいい」という状況です。では、2番刈りはどうかと言いますと、雨あたりの被害はごく一部に

限られ、良質品が多くなっています。1番刈りが不足気味の為、2番、3番刈りも値段も下がらないであろうとの見方が大勢です。1番刈りも2番刈りも、値段は変わらないという現象が起きそうです。また、昨年雨当たりの被害がでた米国産のチモシーについても、刈取り作業真っ最中でしたが、大きな被害もなく良品が順調に刈り取られておりました。

移動の途中で立ち寄った、シアトル周辺の観光名所を、2ヶ所程ご紹介いたします。一つ目は、シアトルの市内にある「パイク プレイスマーケット」です。1907年設立のシアトル最初の農民市場が、キャッチフレーズの場所です。皆さんもご存じのスターバックスの1号店があることでも有名です。

もう一つは、「スノコルミーの滝」です。およそ80メートル落差があり、発電所などもある名瀑です。この滝は、40歳代から上の人達ならば、耳にしたことがあるであろう「ツインピークス」というドラマでも出てきた滝だそうです。

これまで述べましたように、今年のワシントン州産粗飼料の品質は、昨年より間違いなく良いもの



スノコルミーの滝



パイク プレイスマーケット

が入ってくると思いますが、倉庫には、皆さんのご希望に添える品物を置きたいと考えておりますので、ご利用の程よろしくお願いたします。



部課だより

生乳販売課

平成26年6月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し103.2%（1万8534t）と、2年8ヶ月連続し前年を上回る生産となりました。また、累計の受入乳量は、那須高原支所3万5398t（前年比105.7%）、宇都宮支所8261t（前年比98.2%）、県南支所1万3440t（前年比97.4%）、合計で5万7100t（前年比102.5%）となり、那須高原支所の生産量が大きく前年を上回り、宇都宮・県南支所においては、前年を下回りました。

出荷者数は、前年同月より31戸減の478戸（内、学校は3校）でした。

また、年平均乳質は、脂肪率、無脂固形分率については前年を下回る状況、細胞数は前年より向上しております。

尚、累計不合格件数は208件となり、前年（259件）を下回りました。

関東生乳販連の6月総受託乳量は、生産量の減（20ヶ月連続）により、前年比96.2%と3656tの減、累計でも96.3%、マインナス1万1196tの状況です。

用途別の販売数量は、飲用向けが前年比99.5%と前年を下回り、加工率も5.17%と前年を下回る

関東生乳販連用途別販売数量

(単位：kg・%)

用途	6月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	72,529,599	72,861,679	99.5	214,063,148	217,462,992	98.4
(うち学校向け)	13,375,812	13,176,709	101.5	34,886,834	36,229,044	96.3
はっ酵乳向け	13,590,402	13,983,957	97.2	40,804,108	42,738,285	95.5
特定乳製品向け(加工)	4,790,627	7,648,105	62.6	29,679,909	35,293,293	84.1
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,777,780	1,844,628	96.4	5,610,698	5,837,626	96.1
チーズ向け	54,475	61,001	89.3	160,567	182,456	88.0
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	92,742,883	96,399,370	96.2	290,318,430	301,514,652	96.3
加工比率	5.17	7.93	-	10.22	11.71	-

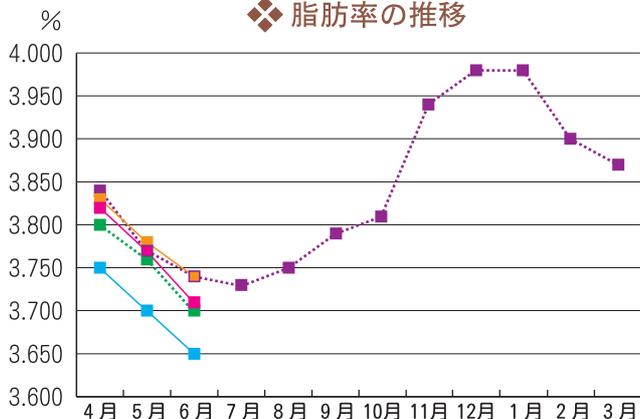
値です。累計値については、飲用向けが98.4%と前年度を下回り、加工率についても10.22%と前年を下回る状況です。

また、全国の生産量（6月時点）は前年比96.8%と未だ回復しておらず、北海道（97.4%）をはじめ全国的にマイナス傾向（都府県96.1%）で推移しております。

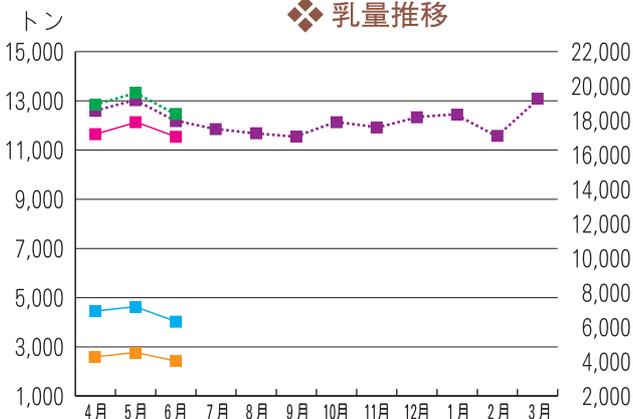
北海道は今後回復に向かうと予想されていますが、都府県は依然として減少が続く状況です。

尚、平成26年6月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

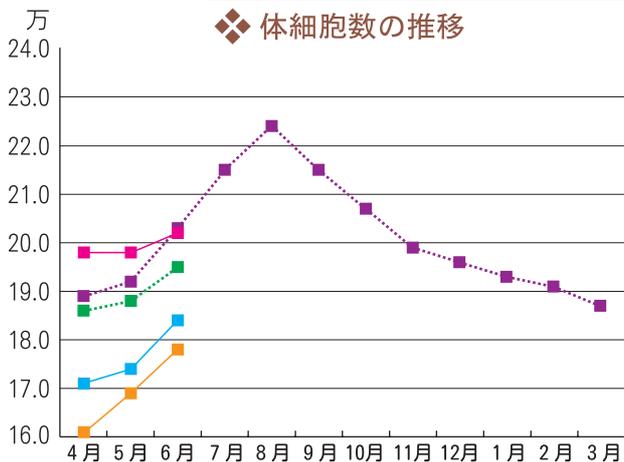
◆ 脂肪率の推移



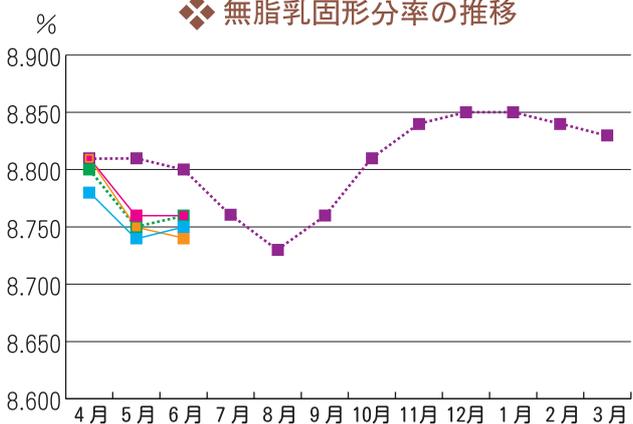
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



業務部

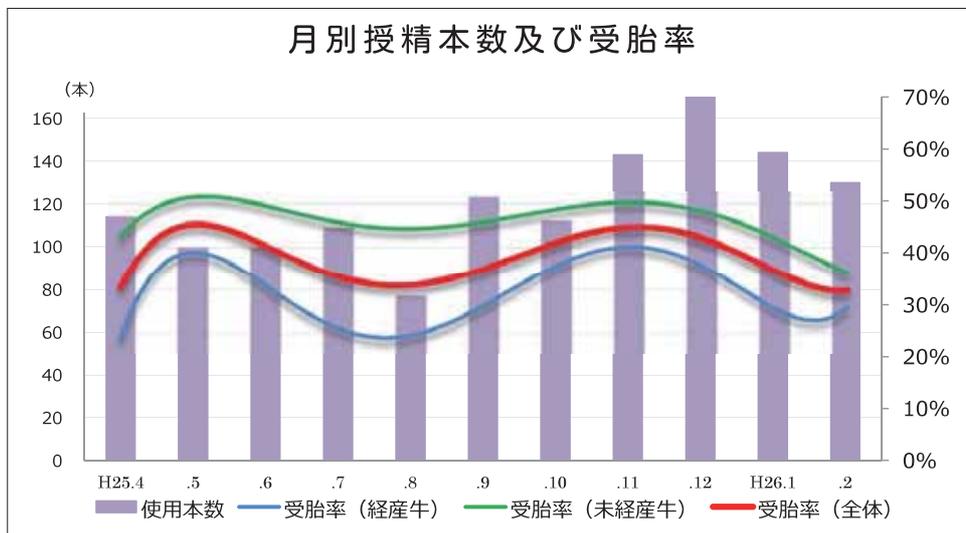
I 平成25年度「後継牛安定確保対策事業」集計結果

平成25年度は報告総本数1,479本で約123%の本数増、助成総額5,060,880円となりました。妊娠鑑定結果が明確なものについて受胎率は、未経産牛44.9%、経産牛33.3%、全体で38.6%という結果です。（昨年度 報告数1,179本、未経産牛受胎率40.7%、経産牛34.1%、全体37.8%）

グラフは月別の受胎率です。青線が経産牛、緑線が未経産牛、赤線が全体で、紫棒が授精本数を表しています。

全体的に見て8月が授精本数、受胎率ともに一番小さい値となっており、その後秋から12月にかけて授精本数と受胎率が上がっています。

報告された内容を見ても、未経産区分において約4ポイント



向上しています。これは預託牛も含めて平成24年度に3回以上種付けされた未経産牛は443頭中29頭（約6.6%）に対して、平成25年度は535頭中21頭（約3.9%）と前年に比べて多数回授精が減少しており、不受胎が続いたときは速やかに通常精液に戻すといったケースが増えたことを示唆しており、全体的な受胎率の向上に寄与したことが伺えます。

昨年も記載しましたが、①未経産牛への適期授精②不受胎が続いたときは速やかに通常精液に戻す③夏場の使用は控える④未経産牛については無理に深部に注入せずとも受胎は期待できる（子宮損傷のリスクを減らす）等が性別別精液とうまく付き合うコツです。

さらに基本的なことではありますが、「マニュアルに沿った融解手順を守ること」、「授精適期を守ること」、「繁殖能力の高い雌牛に授精すること」など、受精・受胎のために適切な条件を整えることも重要です。

この性別別精液を活用した後継牛安定確保対策事業は3ヵ年継続事業の3年目に突入しております。10月には上半期の取り纏めも行って参りますので、引き続きご利用下さいませようお願いします。

II 後継牛保持と副産物強化の両立

近年の酪農状勢を見ると酪農家戸数の減少に伴う経産牛頭数の減少に加え、昨年の猛暑の影響等もあって、全国的に生乳生産の減少が続いており、生乳生産基盤の確保が喫緊の課題となっております。

和牛交配率は和牛仔牛価格が上昇傾向にあること等から増加傾向にあり、平成26年1～3月期における黒毛和種の乳用牛への交配割合は、全国平均で33.1%、都府県においては47.3%と過去最高水準に近づきつつあり、3年後の全国的な生乳生産量の減少が予想されています。

このような背景の中、性別別精液をうまく活用することによって牛群を計画的にコントロールすることが出来ます。性別別精液で2年後の更新頭数を確保し、これで十分な雌生産が予想できたら次は積極的なF1の生産、または受精卵利用等によって副次生産部門の強化を図ることが出来ます。このことは受精卵の性別別技術が開発されたころから言われていたことですが、性別別精液の実用化、さらに和牛価格の高騰によって、現実化してきました。直近では生後50日の和牛ET産子が40万円以上の高値で取引された事例もあります。

安定的に後継牛を保持しながら、効率良く副産物を得て生産基盤強化を図ることが性別別精液の最大のメリットであることから、その特性を理解の上、ご利用下さい。



理事会だより

5月度理事会 (5月30日)

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 後継牛安定確保対策事業の性判別精液候補牛について
- (七) 役員推薦会議報告について
- (八) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 平成25年度事業実績について
- (二) 剰余金処分案について
- (三) 目的積立金の創設について
- (四) 第13回通常総会附議事項の追加について
- (五) 平成25年度乳質共励会表彰について
- (六) 平成25年度生産現場の環境整備・美化コンクール表彰について
- (七) 4月度事業実績について
- (八) 目的積立金の取り崩しについて
- (九) (一社) 日本ホルスタイン登録協会の役員候補者の推薦について

6月度理事会 (6月27日)

報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について

協議事項

- (一) 5月度事業実績について
- (二) 退任理事及び監事に対する退任給与金の贈呈について
- (三) 役員賠償責任保険への加入(更新)について
- (四) 夏季手当の支給について
- (五) 平成26年度酪農生産基盤維持緊急支援事業の対応について
- (六) 組合と理事との契約について

《平成26年度支所事業計画》

各支所において、支所活動推進協議会が開催され以下の事業が決定いたしました。

【那須高原支所】

- 6月13日 花の苗配布
インパチェンス・ベコニア・サルビアを配布し、牛舎環境美化に努めました。
- 8月5日 野外パーティー
組合員間の親睦と交流を深めるため、那須町共同利用模範牧場で開催いたします。
- 11月 支所研修会(講演会)
- 2月 支所ボウリング大会

【宇都宮支所】

- 7月30日 酪農セミナー
演題「私達の経営内でまかない得る可能な『雇用』について、

みんなで考えてみましょう。」

【県南支所】

- 8月6日 支所全体交流会
組合員間の親睦を深めるため、支所前広場にバーベキュー・お楽しみ抽選会を開催します。
- 8月4日、8日、11日
生乳生産チェックシート記載確認及び牛舎周辺環境美化巡回
- 10月 役員会
- 10月、11月 花の苗配布
パンジー・ビオラの他に、今回はチューリップの球根を配布し、牛舎環境美化に努めます。
- 12月上旬
生乳生産チェックシート記載確認及び牛舎周辺環境美化巡回
- 7月30日 全体研修会
講演内容「今やるべきことは何か」逆風に立ち向かう酪農家へのメッセージ」講師 酪農とちぎ技術顧問 齋藤達夫氏
- 11月 花の苗配布
2地域酪農組合合同研修会の開催に併せて、パンジー・ビオラを配付します。
- 12月 全体交流会
組合員間の親睦交流を深める為、バーベキュー・お楽しみ抽選会を開催します。
- 事務申告学習会
組合員の根本壽一氏(ソリマチ農業ソフト認定アドバイザー)と石川明氏の両名が、記帳指導及び青色申告決算書の作成指導を年度内に随時行います。また、組合顧問税理士による確定申告相談会も実施予定です。

6月度 ホクレン初妊牛市場成績 (単位：千円 (税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
南北朝道	6月6日	87	73	83.9%	503	12	11	607
北見	6月9日	271	176	64.9%	536	7	4	662
十勝	6月10日	666	497	74.6%	565	139	111	648
釧路	6月11日	193	116	60.1%	517	5	3	627
根室	6月12日	405	297	73.3%	523	34	19	627
豊富	6月13日	289	166	57.4%	509	1	1	540
合計		1,911	1,325	69.3%	537	198	149	642
前月		2,222	1,693	76.2%	562	176	129	684
前年同月		1,827	1,197	65.5%	488	105	88	664

初妊牛の今後の動向は、10月分娩が中心となります。例年であれば價格的にも下がる傾向にあります。道内の生乳生産量減による地元輸入如何によっては、相場も大きく変動するものと思われます。導入を希望される方は、分娩腹の条件、価格等に十分余裕を持ってお申込み下さいませよう、よろしくお願ひします。

6月度 県内家畜市場成績 (単位：円 (税込))

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須(6/30)	F1雄	93	93	63	257,040	46,440	213,782	2,612
	F1雌	87	85	53	184,680	86,400	147,693	2,308
館林(6/27)	ホルス雄	-	-	-	-	-	-	-
	F1雄	9	9	98	275,400	214,920	254,040	13,920
	F1雌	16	16	93	232,200	111,240	179,753	473

依然として全国的に出回り不足と堅調な素牛相場や枝肉相場高を背景に、初生牛の取引価格は高値相場が続いています。

